

## 032 防災を学べる国際かるた大会を実施

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
NPO 法人国際コミュニティ倶楽部	3名	地震等	京都府

- ✓ 外国人の災害対応力をかるたで向上
- ✓ 札を読み上げながら、避難所でのマナー等を解説

NPO 法人国際コミュニティ倶楽部は、外国人の災害対応力向上を目指したかるた大会を平成 29 年から開催している。

### 1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

#### 外国人向けに災害対応を学べるかるた大会を実施

- NPO 法人国際コミュニティ倶楽部は、外国人が多く滞在する京都市で在留外国人や留学生の生活環境支援を行っている。
- 理事に防災・危機管理を専門とする大学教員がいることから、同倶楽部では以前から生活相談事業において、地震や台風等の対応の簡単な案内をしていた。
- また、過去に「防災かるた」を作成し、幼稚園や小中学校、高齢者向けの大学で使用して防災学習に役立てた実績を持つ理事もいることから、同倶楽部では平成 29 年から京都市内の居住外国人、留学生、児童及び高齢者を対象に、災害時対応を学べるかるた大会（「防災かるた」及び「避難所・避難生活マナーかるた」による）を実施している。

#### かるたを通して、「避難所生活時のマナー」等を伝える

- 同倶楽部では、かるた大会の前に、留学生を対象としたインタビューを行ったところ、避難所の意味、避難所が近隣の小学校であること、地域における災害リスクを知らない留学生が多いこと等が明らかになった。
- 避難所での被災者としての生活において、快適性を保つためのマナーの習得は、避難所設営・運営に大きく影響し、避難者の生活の質を向上させ、生活習慣の異なる留学生には効果がある。同倶楽部の理事長が当時、日本のマナーに関する協会の副理事長を務めており、正しいマナーを指導するための豊富なノウハウを有していたことから、同倶楽部では、かるた大会のテーマを「避難所生活時のマナー」と、「災害の認知」への理解を深めることに設定した。
- このかるた大会では、同倶楽部の理事が製作した「防災かるた」と、同倶楽部が作成した「避難所・避難生活マナーかるた」を使用した。これらのかるたは、外国人に理解できる内容の読み札にすること、分かりやすい絵札をつくること等に配慮されて作られている。



同協会が作成した「避難所・避難生活マナーかるた」

- かるたは、日本の伝統的なカードゲームであり、ルールが理解しやすい。また日本語で作成されており、留学生らの日本語学習に役立ち、基礎的な理解のために英語と中国語で説明を行った上で、かるた大会を実施した。また、

## 国土強靱化

札を読み上げたあとにも、その内容の解説も行うことで、留学生・児童等参加者の理解を促進させた。

- 第1回大会では、中国、台湾、フィリピンの学生が参加した。第2回大会では、さらに参加者が多様化し、アメリカ人、ドイツ、フランス、マケドニア、モンゴル、インドネシアの学生が参加した。初回の大会では、獲得枚数でランク付けを行ったが、参加者がより楽しめるよう2回目以降は成績を付けずに実施している。

### 幅広い言語でのニーズの高まり

- 同倶楽部では中国語と韓国語版の「防災かるた」を作成し、無料で配布している。これらのニーズは非常に高く、在庫がほとんど無い状況である。「避難所マナーかるた」についての問い合わせも多く、同倶楽部の防災に関する取組について、外国人からの認知度も高まっている。また英語版「防災かるた」の問い合わせがアメリカ、ネパール、モンゴルからもあり、同倶楽部は英語版の原案も作成している。

## 2 取組の平時における利活用の状況

- 同倶楽部では、日本語教室においても、大会で使用したかるたに登場する単語を積極的に使用することで、生徒の防災意識を高めている。
- このかるたの導入により、同倶楽部の職員の防災意識も高まっており、事務所を訪れる外国人に対し、四季ごとの季節災害に気を付けるよう伝達をするようにしている。さらに、災害時の助け合いの精神についても理解が急速に深まり、外国人に対しては日本語・英語・中国語でそれを伝えるようにしている。
- また、職員の防災意識の高まりは避難訓練時にも反映されている。事務所からの複数の避難経路を覚え、被災者支援スキルトレーニングを実施している。
- かるた大会終了後には、参加した地域の小学生が留学生の母国の文化について学んだり、小学生が英語でのコミュニケーションチャレンジをしたりと異文化交流の貴重な機会にもなっている。

## 3 現状の課題・今後の展開等

- 既存の多言語版の防災かるたの増刷や、新規言語版作成の要望があるが、その資金確保が課題である。同協会は、クラウドファンディングの活用を検討しており、出資協力者へはかるたの現物を配布することや海外でのかるた大会への参加で、さらなる普及が目指せるのではないかと考えている。

## 4 周囲の声

- 子どもたちが小さい頃から、遊びを通じて防災の知識が身に付けられて非常に良い機会だったと思います。留学生も絵や英語での解説を通じて学びを深めており、また英語の解説は日本の子どもたちの語学学習にも役立つため有意義だと感じました。保護者の方からも「子どもが楽しそうで良かった」とのコメントをいただきました。（かるた大会を実施した児童館職員）

担当者の声



### 外国人の防災意識の向上に役立っていると実感しています

- 外国人は本倶楽部に問い合わせれば、災害時対応に関する知識が得られるという情報が定着してきつつあると感じています。
- これまでは日本語バージョンによる「防災・避難所マナーかるた会」であったが、中国語、韓国語バージョンによるかるた会も企画して、観光客に災害時対応のあり方を学ぶ機会を作りたいと考えています。

問合せ先

NPO 法人インターナショナルコミュニティ倶楽部 法人番号: 8130005013126  
TEL 075-254-0031 FAX075-254-0032 E-Mail info@icc-npo.com